

科目名	PAL（専門職韓国語）	科目コード	1261	単位数	2
担当者名	李 鳳	開講セメスター	第6セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

●授業のねらい

「アジアの時代にアジアを学ぶ」という本学の教育目標を踏まえ、高度な韓国語コミュニケーション能力の涵養をめざす。PAL（専門職韓国語）で学んだ内容を深化させ、韓国語のことわざ・慣用表現を覚えて流暢な会話力を身につけるためだけでなく、幅広い情報の獲得ができる実力を養う。また、韓国語能力試験中高級（4・5級）の合格を目指す。

●到達目標

韓国語能力試験4・5級の合格を目指す。具体的には「一般的な業務遂行に必要な言語能力（4級）、専門分野においての研究や公式、非公式の脈絡や口語的、文語的脈絡によって言葉を適切に区別して使う（5級）」レベルに到達する。

韓国語のプレゼンテーション能力の向上を目指す。与えられた課題について論理性と説得力のある韓国語の文章で意見を開陳する。

●授業内容

1週目 オリエンテーションとPAL とのブリッジ

2週目 第11課：慣用表現と4字熟語

・韓国語と日本語の慣用表現の類似と相違を認識する。

3週目 第12課：お祭り

・日本や北海道の有名なお祭りについて韓国語で文章を作成する。

4週目 第13課：余裕のある人生

・理想的な生き方について自分の意見を韓国語で作文する。

5週目 第14課：ハンゲル

・『ハンゲル』に関する説明文を理解し、韓国語で要約する。

6週目 第15課：脳の神秘

・脳に関する説明文を理解する。

・効果的な韓国語勉強法について自分の意見を韓国語で言う。

7週目 第11課～15課の復習を行い、学習内容の定着を図る。あわせて中間テストを実施する。

8週目 学生によるプレゼンテーション発表とフィードバック

9週目 第16課：私たちの指導者

・韓国の大統領のスピーチを聞いて理解する。

・日本の有名な政治家を韓国語で紹介する。

10週目 第17課：表現の違い

・韓国と日本の言葉や文化の類似点と相違について韓国語でまとめる。

11週目 第18課：安全事故

・応急手当てについて韓国語で作文して発表する。

12週目 第19課：韓服

・韓国の韓服の変化に関する文章を読んで理解する。

・日本の伝統衣装(着物、浴衣など)について韓国語で紹介する。

13週目 第20課：マーケティング

・韓国の成功したマーケティング戦略や事例を読んでまとめて発表する。

14週目 学生によるプレゼンテーション発表とフィードバック

15週目 第16課～20課の復習を行い、学習内容の定着を図る。あわせて期末テストを実施する。

16週目 まとめ

但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行う。

●準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

進出単語の暗記は予習として必ず行い、事前の教科書のCDを聞いて朗読の練習を十分に行って授業に参加すること。（90分程度）

復習として課せられた発表課題は、必要に応じてネイティブの確認を行うなど事前の準備を徹底して行うこと。（90分程度）

●成績評価の方法・基準

中間試験（30%）+ 期末試験（30%）+ 小テスト（10%）+ 課題（20%）+ 発表（10%）という比率で成績を算出する。欠席日数が授業日数の3分の1を超えた者は評価の対象としない。

●履修上の留意点

・3回遅刻は1回分の欠席として取り扱う。

・欠席する場合は急病ではない限り、事前に知らせること。

・授業態度は、準備物の用意、発言の積極性などにより評価する。

●課題に対するフィードバックの方法

課題発表に対しては、教員が修正事項などをコメントする。それに基づいて学生が修正し、発表を行う。発表時にさらに教員がコメントする。最終的にレポートや課題ノートを作成し、提出してもらう。それについても修正箇所をフィードバックするので学生はそれを参考に修正し、最終提出する。

●テキスト

新大久保語学院『改訂版できる韓国語中級』（DEKIRU出版）2700円

（本科目はPALと同じテキストを使用する）

●参考書

油谷幸利『間違いやすい韓国語表現100中級編』（白帝社）1800円

油谷幸利『間違いやすい韓国語表現100上級編』（白帝社）1800円

● 更新日付

2022/02/01 02:24